

11/15  
2010年第1059号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
会誌  
発行人 志岐 敬  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可



10月16日の街頭宣伝では、多くの人が窓口負担軽減の署名に協力した

## 患者負担減らしたい

### 請願署名1万筆に迫る

協会・保団連が取り組んでいる窓口負担引き下げなどを求める国会請願署名が、急速に広がっている。負担軽減を願う国民や医療関係者の声を背景に、9月1日の署名開始以降、会員院所や関係団体から続々と届き、協会集約分は9千筆を突破した。国政レベルでは過去最高の会員協力率を記録するなど、勢いを増している。(3面に関連記事)

### 会員署名も千筆超える

協会は9月理事会で対話を重視した会員訪問に取組み、請願署名・会員署名への協力を広げることを決めた。この間、役員・事務局が一丸となって訪問活動を展開。11月5日までに1394医

院を訪問し、853人と対話した。訪問活動後の請願署名協力医数は倍増した。会員参加率は、国

政レベルでは過去最高となっている。地域での歯科健診や街頭宣伝でも署名への協力を呼びかけ、9207筆を集めた。診療報酬引き上げなどを求める会員署名も1000筆を集約した。

「してほしいと言われた」「子ども2人を連れた母親が『お金がかかるから』と言った下の子しか受診させなかった」「常に患者の懐を気にしながら診療している」など、窓口負担を苦に必要ない治療が受けられない実態が浮き上がり、患者負担引き下げを求める声が続いてきた。

「理事長が先頭にたつて国にもを言ってくれて、このスタンスを続けてほしい」といった協会運動に期待する反応も多く寄せられた。そんななか、厚労省は10月25日、70歳から74歳の窓口負担を2013年度から段階的に2割に引き上げる方針を打ち出した。患者・国民の願いに逆行する政策に、国民から批判と怒りの声が上がっている。このスタンスを続けてほしい」といった協会運動に期待する反応も多く寄せられた。

### 請願署名・会員署名 今月末までに協会へ

請願署名・会員署名は11月末まで取り組んでいます。集まった署名は国会に届けますので、必ず協会まで送付ください。請願署名は返信用封筒に入れて郵送で、会員署名はファクスでそれぞれお送りください。追加の署名用紙が必要な方は、事務局までご連絡ください。

### 保険業法改正法案

## 全会一致で衆院を通過

### 休保再開へ大きな前進

衆議院・財務金融委員会に10月1日付で付託された「保険業法再改正法案」が2日、同委員会でも全会一致で議決され参議院へ送られた。

保険業法が施行された2006年以降、既加入者の維持・管理状態にある保険医休業保障は、法案が成立・施行されれば新規・増口の受付がようやく可能となる。

最近、近畿圏内で「休業保障の説明」と称した診療所への突然の訪問・電話が相次いでいる。協

### 「休保説明」装う悪質営業

協会 注意呼びかけ

改正法案は、保険業法の規制により存続が困難になった自主共済を救済する目的で提出され、一

件に制度の継続が認められる。協会・保団連は他の共済団体と連携しながら、現行の制度内容のまま再開できるよう実態に合った政省令の制定を強く求めたい。

協会共済部では、会員に注意を促すとともに、万一同様の連絡があった場合は同部まで連絡するよう呼びかけている。

### 第11回保団連全国交流会

## 歯科医療費拡大求め決議

国民との共同で要求実現めざす

全国の保険医協会の歯科会員は着実に増加し、「保険で良い歯科医療を」も8都府県で結成され、自治体意見書採択も地方議会の3割近くに達するなど、運動が前進していることを紹介し、今後の運動課題として、①2012年の診療報酬・介護報酬同時改定で改善を実現するための要求の整理②患者負担軽減のための様々な運動③混合診療問題④海外技工問題⑤口腔と健康の啓発

かした体験を力に、運動を進めようと呼びかけた。馬場氏は、歯科疾患実態調査ではう蝕の未処置者が372万人と推計されるのに対し、患者調査の1日推計患者は61万人であることを紹介、格差拡大で、国民が歯科医療にかかりにくくなっていることを示唆した。

保団連は10月31日、第11回歯科全国交流会を開き、36協会から歯科役員、事務局合わせて131人が参加、「患者の窓口負担軽減、歯科医療費総枠拡大で、保険で良い歯科医療の実現を」の集会決議を採択した。大阪歯科から伊津進弘理事長はじめ7人が参加し、小

澤力副理事長が大阪の署名を広げる訪問・対話運動、レセプト電子請求をめぐる課題、学校医療券の対象疾患を広げる課題で発言した。集会は、馬場淳保団連副会長が基調報告で、政権交代を実現し、社会保障費を削減してきた流れを変え、国民が政治を動か

⑥需給問題——を上げた。参加者からは、歯科保険給付の拡大も位置づけるべきとの発言があり、加えることになった。課題達成には、会員の役に立つ活動をしていくことだとし、審査、指導、監査改善の取り組みや日常臨床研修会などに取り組むこと、診療報酬改善と患者負担軽減のために議員や中協などへの適切な情報提供、国民・患者との共同で進めていくことと呼びかけた。

2011年新年号 会員投稿を募集

機関紙新年号への会員投稿、写真を募集しています。掲載者には薄謝進呈いたします。

【投稿】700字以内、顔写真を同封ください。①趣味②日常の臨床や家族のこと③新年に思うこと④エッセイや俳句⑤旅行記⑥干支(兔)に関すること⑦お店紹介など

【写真】新年や冬にまつわる風景・人物写真。サービス版以上4つ切り以下。

【応募方法】原稿は、郵便やファクス(06-6568-0056)で新聞部まで。電子メール(n.matsuo@doc-net.or.jp)でもお受けしています。12月7日必着。

※詳細については、新聞部事務局までお問い合わせください

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

### 歯界

寒い冬を避けて、ポリネシア、ミクロネシア、メラネシア等に旅する金持ちの日本人が少なくない。あの辺りの地理や地名に私が詳しいのは戦争中軍国少年だったからだ。当時の地図で日の丸旗だらけだった地域の珊瑚礁に囲まれた多くの島国が地球温暖化のせいで水没の懸念にある。

日本軍が遠路この地方に進出したのは戦略構想にも依るが、400年にもわたる世界的にも珍しい厳格な鎖国政策の後の大反動なのだろう。

他国の鎖国例は国土が大き過ぎたり陸の国境線があつたりで、実効性が薄かった。地理的条件が日本と似たイギリスは鎖国どころか始めから外向き視線である。

外で暴れてやばくなる、狭い日本列島に逃げ帰る閉じこもるのが日本の歴史的国家的な体質であり癖である。

グローバルな現在に適応し難いこの性癖は国際競争に遅れを取りかねない懸念材料で、反動的な爆発でない外向き視線への転換が求められる。